

沼上 賢次 議員

新たな10年に向け行革が必要

問 新しく門出を祝す市のオリジナル「婚姻届」、二人の記念用婚姻届」の作成を。

答 幸せな結婚に華を添え、市の魅力を十分に感じることが出来る「オリジナルの婚姻届」と同様、市独自にデザインした「ふだりの記念用婚姻届」の実施に向け検討したい。

問 地域振興のPRや地域への関心、愛着へつながるご当地ナンバーの導入ができないか。

答 地域の様々なキャラクターや資源の魅力を表現したご当地ナンバーは、自分たちのまちのイメージや誇りをかき立てるツールとして、市の個性と魅力をアピールする動く広告塔である。誰もが愛着を持ち、市の情報発信につながるナンバープレートとの作成・導入に向け検討したい。



袋井図書館の児童書コーナー

図書館利用の促進を

問 読書に楽しく取り組め、意欲を高める読書通帳の導入はどうか。

答 児童生徒は「読書ノート」「読書カード」を独自に作成し、本の題名や著者名、感想などを記録して、読書活動に積極的に取り組んでいる。今後も読書活動を記録に残すカードの利用を呼びかけ、読書活動の推進を図りたい。

鈴木 弘睦 議員

袋井版地方創生への取り組み

問 ふるさと納税者に対し、ふるさと住民票等の制度導入を検討しては。

答 シティプロモーションの観点から色々な方法を考えるべきであるため、制度導入についても費用対効果を考え検討していきたい。

問 国際的なイベントを控え市民の英語力向上について、どのような事業展開を考えているのか。

答 国際化の一步を踏み出すため、平成28年度から一般財団法人自治体国際化協会のジエットプログラムから国際交流員として2人の外国人職員の派遣を要望している。職員として市民との交流、インバウンド観光への対応として情報発信など、国際化に向けたサポート業務を担ってもらいたい。

改正公職選挙法への対応

問 子ども連れでの投票所入場が可能になる見通しだが、環境整備や広報活動をどのように行っていくのか。

答 子どもたちが投票の様子を見ることは、主権者教育の機会として有効であるため、広く認識していただくために広報ふるいや市ホームページを活用して、選挙時以外での周知にも努めたい。



国際交流員による小学校の授業(和歌山県広川町)